

令和4年度 第4回 浜松市立鹿玉中学校運営協議会 議事録

- | | |
|---------|---|
| 1 開催日時 | 令和5年2月21日(火) 13時30分から15時30分まで |
| 2 場所 | 浜松市立鹿玉中学校 南校舎図書室 |
| 3 出席委員 | 7人 |
| 4 欠席委員 | 1人 |
| 5 傍聴者氏名 | なし |
| 6 協議事項 | (1) 学校関係者評価の結果及び来年度の経営方針について (2) 学校運営協議会自己評価について |

7 議事の経過の概要及び審議の結果

司会から、委員総数8人のうち7人の出席があり、過半数に達しているため浜松市学校運営協議会規則(以下「規則」という)により会議が成立し、会議を開始する旨の報告があった。

(1) 学校関係者評価及び来年度の経営方針について

教務より、学校関係者評価の報告がありその後意見交換を行った。

- 各学期末に2回実施。全体的に2学期の方が意欲的に取り組んでいるのが分かる。
 - 生徒の評価が高いことから、自分たちは頑張っているという意識を感じることが出来る。
 - 教員による評価からは、生徒への期待、希望がより強いことがうかがえる。
 - 保護者の目を通した子供たちの姿が、目標や志を持っていると映っている評価は嬉しく感じる。
 - 困難なことにも挑戦し未来について考えるという生徒の評価が高いのはとてもいいことだと思う。
 - 学期に一度アンケートをとることは、学校が掲げる目標を意識して過ごし、それを具体的に考えることが出来るため今後も実施していく。
- アンケートを通して各委員で意見交換がされた。
- ・教員の評価が厳しくなるのは目標を高く掲げているからなのだと思う。
 - ・先生方が生徒たちにどのように目標をもたせていくのか、もう一工夫できると生徒たちはもっと自信を持ちそれが評価にも出てくるのではないかと感じる。

校長より来年度の経営方針について説明があった。その後意見交換を行った。

- 校訓「鹿玉を磨く」目標「持続可能な社会を担う自己効力感を高める生徒の育成」この先社会を担っていく人材の育成を目指し、その為にはどんな力が必要になるかを考えていく。
- 自己肯定感、自己有用感、自己効力感を育てる。
- 「君たちはどう生きるか」という問いかけを据える。混沌とした時代の中どう生きていくかを問いかけたい。
- マイテーマ学習の設定。自分の興味あるものを見つけ3年間かけて自分なりに探求していく。
- ウェルビーイングアクション。よりよく生きていこうという事を一つの括りとし成長を促していきたい。
- ・色々なことに取り組もうとしている姿勢が分かりやすく見えていい。家庭へも分かりやすく伝わると思う。
- ・一つ目標を持って何かに取り組むのはとてもいい問いかけだと思う。興味ある取り組みになると思う。
- ・中学校生活の中で総合的な探究に繋がる下地を作る、というのはとてもいいことだと思う。

(2) 学校運営協議会自己評価について

- 学校運営基本方針について、様々な視点で意見を述べるなど十分な熟議が出来た。
- 活動についても工夫を凝らした活動に結び付けることが出来たと思う。
- 来年度も教育活動がより充実したものになるよう取り組んでいきたい。
- 引き続き地域への周知を心がけていきたい。

8 その他

報告事項

○夢育やらまいか事業（CS加算分）報告。

司会から、次回会議は、令和5年4月24日（月）13時30分から開催する旨の報告。